

# 御嵩町公共施設等総合管理計画【概要版】

## 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策

公共施設等の耐用年数・劣化状況・耐震性能だけでなく、町としてあるべき行政サービス水準、必要機能などを総合的に勘案しながら、整備等をする優先順位付けをおこない、個別計画の策定に取り組みます。また、計画の進捗管理について、専門部門を位置づけ、分野横断的に管理していきます。

## 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

### 1 点検・診断等の実施方針

- ◆施設に応じた定期的な点検・診断を実施し、予防保全型の維持管理に努めます。
- ◆インフラ資産も同様に、定期的な点検・診断を実施し、老朽化や劣化箇所の把握に努めます。

### 2 維持管理・修繕・更新等の実施方針

- ◆施設又は施設類型ごとに予防保全の考え方を踏まえ、計画的な維持管理に努めます。
- ◆点検・診断を通して、優先順位をつけつつ維持管理・修繕・更新等を実施します。
- ◆先端技術等の積極的な調査・導入を検討し、維持管理・運営に係るコストの削減に努めます。
- ◆環境負荷の低減対策を講じ、省エネルギーや運営経費の削減に努めます。
- ◆情勢変化も視野に入れた適切・柔軟な実施方針とします。

### 3 安全確保の実施方針

- ◆日常的な点検により危険性の迅速な発見に努め、必要な対策を適切な時期に実施します。
- ◆高度の危険性が認められた施設に関しては、早急に優先順位を見直します。

### 4 耐震化の実施方針

- ◆公共施設は、老朽化の度合いも勘案しながら、補強工事、建替え、統廃合等により、耐震性能確保を進めていきます。
- ◆インフラ資産は、災害時に重要となる路線等、優先順位を設けつつ計画的に耐震性を確保します。

### 5 長寿命化の実施方針

- ◆長期的な利用が望まれる施設に関しては、計画的に施設の長寿命化を図ります。
- ◆インフラ資産は、類型ごとに長寿命化計画を策定し、予防保全型の維持管理に努めます。

### 6 ユニバーサルデザイン化の推進方針

- ◆障がいの有無、年齢、性別、人種等に関わらず多様な人々が利用しやすい庁施設の実現を目指して、ユニバーサルデザイン化を図ります。
- ◆すべての施設における建築物及び建築物に付属する設備等を対象都市、法令等を踏まえた推進を図ります。

### 7 統合や廃止の推進方針

- ◆町民ニーズの変化などに対応し、統廃合等を行い、施設総量の適正化・スリム化に努め、PFI/PPPの導入など、民間活力を最大限に活用することを検討します。
- ◆個別施設計画については、ユニバーサルデザイン化を踏まえ、地域特性を考慮しつつ、町民との合意形成を図りながら改定していきます。
- ◆インフラ資産は長寿命化などを通して、施設の予防保全、維持管理費の削減に努めます。

### 8 総合的かつ計画的な管理を実施するための体制の構築方針

- ◆課長会議の場で、個別計画の進捗状況などの情報共有を図ります。
- ◆維持管理に関する研修会・講習会などへの積極的な参加により、職員の高度な知識・技術の習得・向上に努めます。
- ◆委託業者や利用団体などと連携し、より多くの施設状況を把握に努めます。
- ◆公共施設に関しては、自治体の枠を超えた広域連携を検討します。

計画期間は今後の33年間とします(必要に応じてその都度見直します)。

## 計画の目的 公共施設等の適正規模を図るための基本的な方針を提示

御嵩町が保有する公共施設・インフラ資産(以下、「公共施設等」という)を対象に、全体の保有状況の把握と、公共施設等を取り巻く現状や将来にわたる課題等を客観的に把握・整理するなかで財政負担の平準化を目指し、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化等を含めた公共施設等の適正規模を図るための基本的な方針を示します。

## 公共施設の保有状況 施設機能数:70、総延床面積:約6.7万㎡

保有する公共施設の施設機能数は70で、総延床面積は約6.7万㎡です。大分類で見ますと、施設数は文化・観光・農業施設、公園が最も多く12施設、延床面積では小学校・中学校が最も多く、約3万㎡を保有しています。

分類	施設機能数	延床面積	施設内容
行政系施設	2	5,918.24㎡	御嵩町役場本庁舎、御嵩町役場北庁舎
防災施設	7	1,422.55㎡	消防第2～4分団詰所、長岡防災倉庫、消防常備車庫、防災コミュニティセンター、防災拠点施設
小学校・中学校	6	29,542.00㎡	上之郷小学校、御嵩小学校、伏見小学校、上之郷中学校、向陽中学校、共和中学校
その他教育施設	2	1,700.33㎡	給食センター、古屋敷住宅
保育園	3	2,126.81㎡	上之郷保育園、中保育園、伏見保育園
子育て支援施設	3	1,395.67㎡	中児童館、伏見にこにこ館、ぼっぼかん
高齢者福祉施設	4	804.73㎡	ふらっとハウス、老人憩いの家、あっと訪夢、みたけ健康館
公民館	4	4,992.54㎡	上之郷公民館、御嵩公民館、中公民館、伏見公民館
町営住宅等	6	8,474.00㎡	宿住宅、板良住宅、白山住宅、顔戸住宅、高倉住宅、若宮住宅
文化・観光	12	4,261.98㎡	中山道みたけ館、竹屋資料館、御嵩宿わいわい館、御嵩宿さんさん広場、農業担い手センター、四季の家、願興寺トイレ、観光休憩所、謡坂公衆トイレ、津橋公衆トイレ、諸之木峠公衆トイレ、鬼岩公園公衆トイレ
スポーツ・レクリエーション施設	1	2,549.00㎡	B&G海洋センター
その他の供用施設	6	1,862.37㎡	希らり館、みたけ会館、あゆみ館、ストックヤード、御嵩町役場バス停(四阿)、旧樫の家
遊休公共施設	2	1,111.24㎡	旧長楽荘、御嶽宿旧鍵谷邸
公園	12	1,224.72㎡	みたけの森、金峰ふれあいの森、綱木グランド管理棟、顔戸グランド、白山多目的グランド、伏見グランド、一本松公園、ポケットパーク、真名田親水公園、南山公園、古屋敷町民広場、御嵩城址公園
計	70	67,386.18㎡	

※分類として挙げている「公園」とは、敷地内に建築物を含む公園のことです。



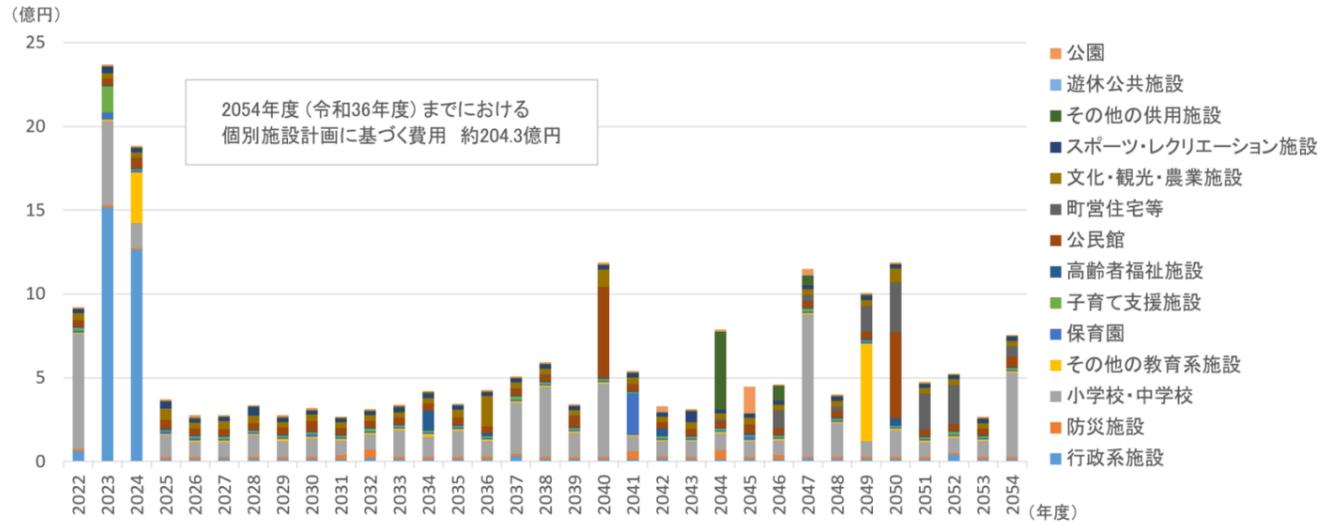
御嵩町公共施設等総合管理計画【概要版】 平成28年3月(令和4年3月改定)

編集・発行: 御嵩町役場 企画課 企画調整係(岐阜県可児郡御嵩町御嵩1239番地1)

TEL: 0574-67-2111/FAX: 0574-67-1999/MAIL: tyosei@town.mitake.lg.jp

## 公共施設の更新に必要な経費 33年間で約204億円の更新費用

今後33年間に於ける公共施設の更新費用の総額は約204億円となります。平均すると、1年あたり約6.2億円の費用が必要となります。



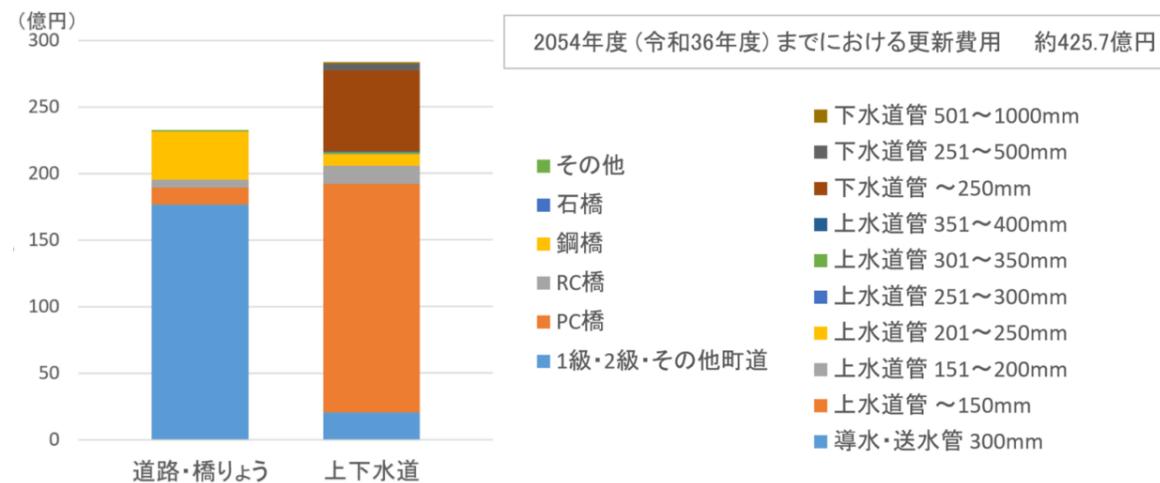
## インフラ資産の保有状況 道路・橋りょう・上下水道・トンネル・公園

保有するインフラ資産は町道延長約274km、橋りょう155橋、上水道管延長約211km、下水道管延長約130km、トンネル延長約160m、公園敷地面積約95万㎡になります。

インフラ資産	数量	インフラ資産	数量
道路	実延長：274,497m	橋りょう	橋りょう数：155橋
上水道	上水道管延長：221,408m	下水道	下水道管延長：129,927m
トンネル	延長：160m(1箇所)	公園	敷地面積：949,042㎡(12箇所)

## インフラ資産の更新に必要な経費 33年間で約426億円の更新費用

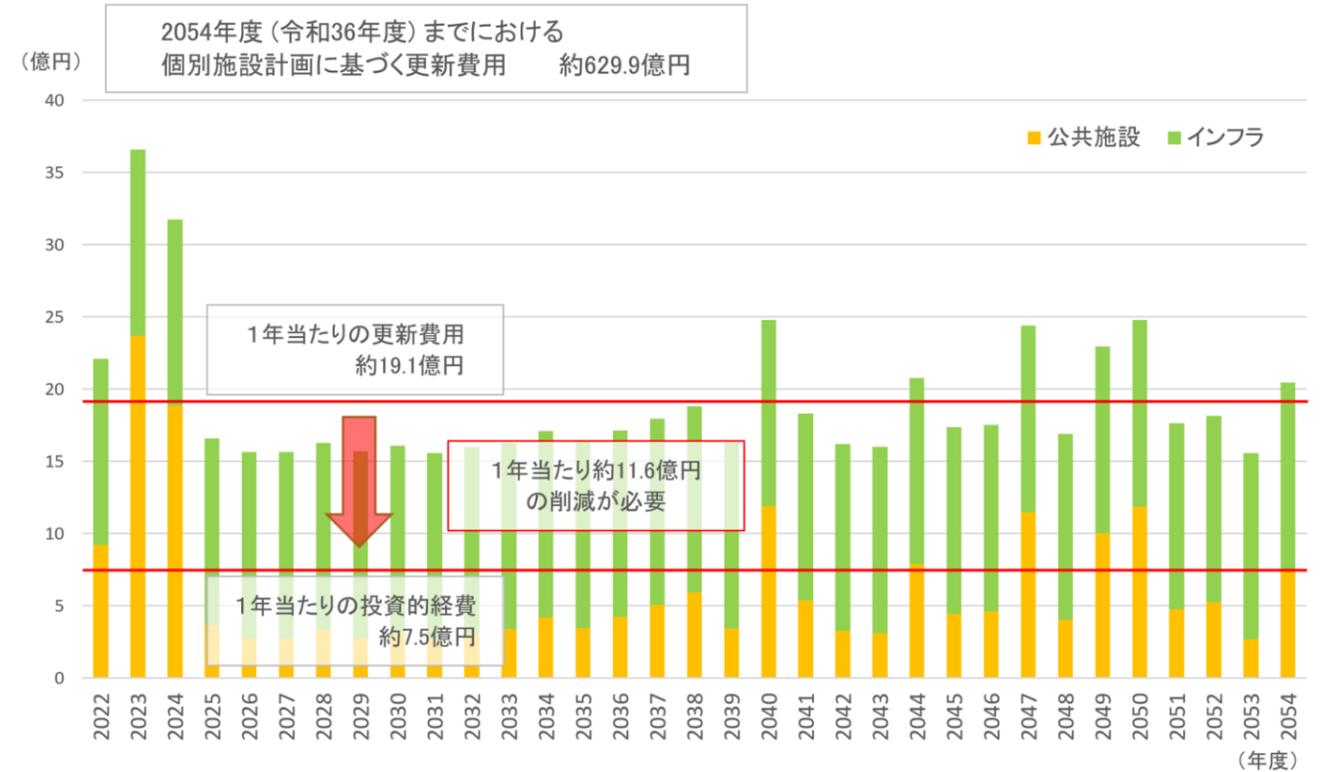
今後33年間に於けるインフラ資産全体の更新費用の総額は約426億円となります。平均すると、1年あたり約12.9億円の費用が必要となります。



## 公共施設等に係る課題

## 33年間で約630億円に対して約382億円の削減が必要

公共施設とインフラ資産を合算した場合、更新費用の総額は約630億円となります。平均すると、1年あたり約19.1億円の費用が必要となります。算出した将来の更新費用(19.1億円/年)と過去10年間の投資的経費の平均(7.5億円/年)と比較すると、1年あたり約11.6億円、33年間では約382億円の削減が必要となります。



## 面積削減検討

## 御高町人口ビジョンに基づく人口減少度合いから、公共施設の面積削減量をシミュレーション

- 2020年の人口を100とすると、今後の将来更新費用推計で対象期間とした2054年に一番近い2055年(目標値)には80.2(約2割減)に
  - 将来も現状の一人当たりの公共施設延床面積を維持するとした場合、保有面積も同様に約2割(約1.3万㎡)の削減が必要
- ※金額換算すると約76.5億円相当



町民ニーズの変化などに対応し、施設の統合、廃止、複合化、用途変更、減築などを行い、身の丈に合った施設規模へと施設総量の適正化・スリム化に努めます。